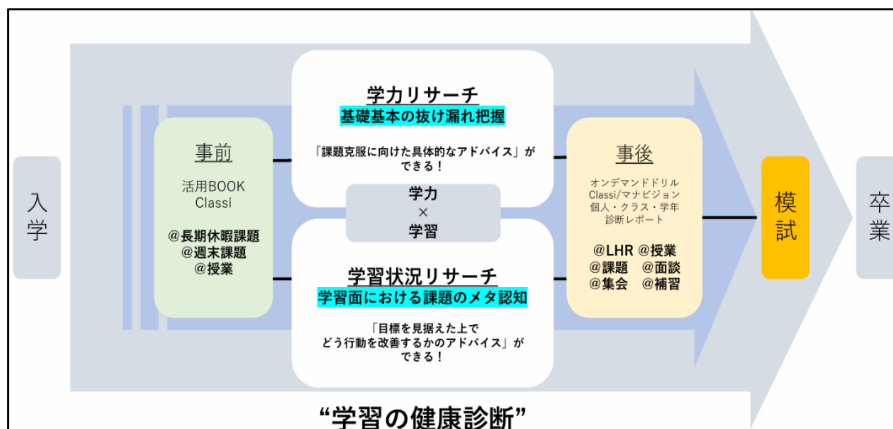




1、2学期当初の主な進路行事

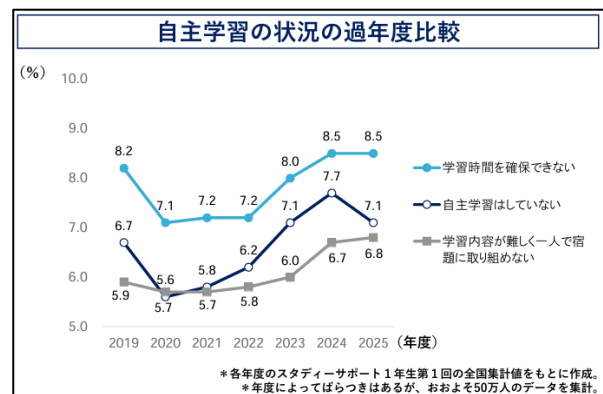
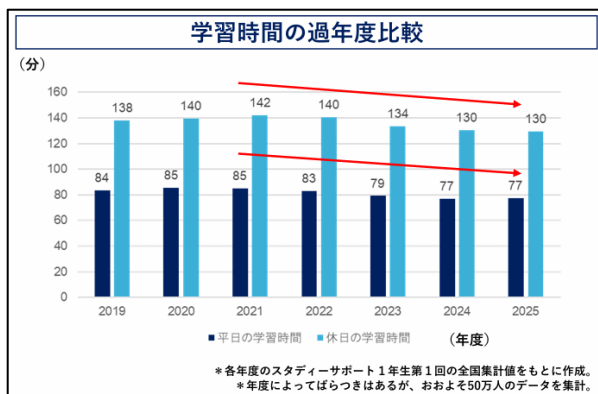
(2) スタディサポート第2回実施(1・2年)

2学期始業式が行われた8月28日(木)に、1・2年生はスタディサポート第2回を実施しました。スタディサポートは、年2回(3年生は年1回)、1学期と2学期の当初(3年生は1学期のみ)に実施をしています。“**学習の健康診断**”(下図参照)として、生徒が自身で気づきにくい「課題」を明らかにし、成長への「次のアクション」を起こすことが出来ます。①活用BOOKにより基本的な学習



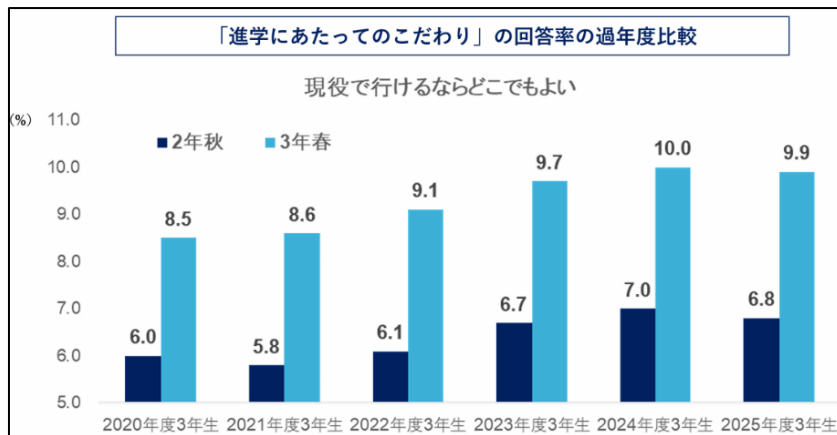
事項の確認・復習、②学力リサーチで基礎基本の抜け漏れ把握、③学習状況リサーチで学習面における課題をメタ認知(自分自身の理解)を行います。そして、「課題克服に向けた具体的なアドバイス」や「目標を見据えた上でどう行動するか」のアドバイスを、今後の学習の参考

にすることで、進路実現にもつながるはずです。1～3年次まで合計5回実施することで、学習内容の定着度や、学習時間や学習状況の推移を確認することができます。現在の自分について振り返り、過去の自分と比較することで、学習意欲の向上や学習への主体性を高めることにつながるはずです。



上図は、スタディサポート1年生第1回の全国集計値をもとに作成されたものです(ベネッセ資料参照)。傾向として、学習時間の過年度比較(左図)を見ると、平日と休日の学習時間で減少が続いていることが確認できます。また、自主学習の状況の過年度比較(右図)を見ると、学習時間を確保できない/一人で宿題に取り組めない生徒が増加していることが確認できます。

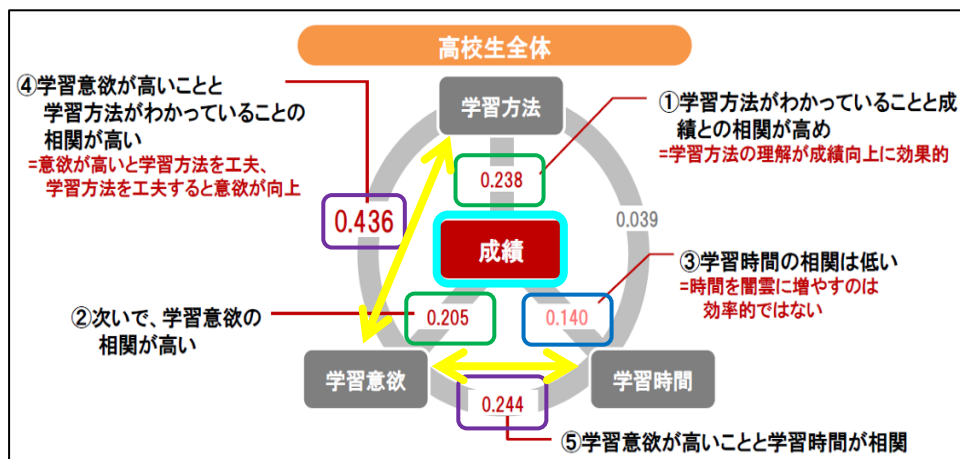
本校の1・2年生の第1・2回の結果を比較しても、学習時間を確保できないと答えた生徒が**1年生(7%→22%)・2年(19%→26%)と増加傾向**にあります。特に、勉強と部活の両立がなかなか思うように出来ていないことが予想されます。大学入学共通テストは、1・2年次で学習する内容が多くを占めているため、**1・2年次で学ぶ基礎内容をしっかり定着させることが、本番の高得点につながります**。基礎力を徹底的に強化し、その上で読解力や応用力を高めていくことが大切です。



そして、日々の授業や定期テストへの取り組みも、共通テスト対策として重要です。左図の「進学にあたってのこだわり」（ベネッセ資料参照）の回答率の過年度比較を見ても、「現役で行けるならどこでもよい」という生徒が年々増えています。大学全入時代の中で、「学びたい大学」・「絶対に行きたい大学」な

どの強い意識を持ち、自分自身で明確な目標（志望校）を決めることが、学習意欲の向上にも繋がります。学習方法の仕方が分からない場合には、まずは【SAH Journal Vol.104】で確認をしてください。そして、各教科担当の先生方に質問をし、早めの解決をオススメします。

下図は、「成績と学習方法・学習意欲・学習時間の関連（高校生全体）」（ベネッセ資料参照）についてまとめたものです。



【成績向上に相関】

- ① 学習方法（何をどうやってするか）
- ② 学習意欲（何のために：目的・目標・志望校）

【低い相関】

- ③ 学習時間

※2023年調査の結果をもとに分析
 ※「学習方法」は「上手な勉強のしかたがわからない」(4段階)を逆転、「学習意欲」は「勉強しようという気持ちがわからない」(4段階)を逆転させた。
 「学習時間」は宿題、家庭学習、学習塾の1日当たりの時間の合計。
 ※成績は5教科(国語、数学、理科、社会、英語)それぞれの自己評価(5段階)を合計。

《偏差値68以上の上位層》の場合には、①学習方法の数値は(0.238 から 0.445)に上がります。しかし、②学習意欲の数値は(0.205 から 0.146)、③学習時間の数値は(0.140 から 0.010)に下がってしまいます。その背景には、以下の点が挙げられます。

【成績向上のためには…】

- ①学習方法 → より高いレベルで学習方法を工夫していることが重要
- ②学習意欲 → 意欲を高めるだけでは成績が上がりにくい
- ③学習時間 → 学習時間を増やすだけでは成績が伸びない

①学習方法と②学習意欲の相関の数値は、0.436（偏差値68以上は0.441）です。【学習方法を工夫すると学習意欲も向上 ⇔ 学習意欲が高いと学習方法も工夫】の相関が生まれ(上図の黄色矢印)、学習意欲の向上により学習時間の増加も見込めます。

自分にあった学習方法を見つけるには、時間と労力がかかります。ただ、自分自身で明確な目標（志望校）を定められれば、学習意欲の向上につながります。また、学習方法は、日々の学習の中で試行錯誤し努力を重ねることで、自分にあったものを見つけ出すことが出来るはずですが、学習意欲の向上のために自分の進路を考え、自分にあった学習方法について検討をしてみてもいいかもしれません。より効果的な学習を目指し、頑張ってください。